



す が お

No.31

養護老人ホーム
松楓園 情報誌



明けましておめでとうございませう。本年も利用者の皆さんがご健康で、平穩な日々を過ごされますよう心よりご祈念申し上げます。一昨年の「百年に一度」といわれた金融危機は予想以上に日本の経済界に深刻な影響を与え、いまだに立ち直る気配を見せておりません。ニュースでは沢山の人が職を失い、多くの学校新卒者が仕事に就けないで困っていると報道されています。まだしばらくは、私たちは我慢の生活を強いられると思います。

一方、社会福祉関係では、昨年四月に介護保険施設では介護職員の処遇改善として、介護報酬プラス三%の改定などが行われました。他産業と比較してその業務の割りに賃金水準が低く、まだまだ十分ではありませんが、とりあえず見直されました。しかし措置施設である養護老人ホームをどうするかは施策は今のところ見えてきていません。

昨年三月に起きた群馬県の施設の火災事故から、在宅介護が困難な低所得の高齢者が入居する施設が不足している深刻な実態も浮き彫りになりました。養護老人ホームは平成十八年四月から、いわゆる措置制度のまま新型養護老人ホームとなり、自立度の高い利用者への支援を想定した制度で、直接介護に当たる職員

の割合は減員されました。今後養護老人ホームでも、制度的再検討がなされるものと思われませんが、養護老人ホームに入所されている利用者の皆様の生活が向上されるよう見直しを働きかけて行くと同時に、福祉施設で働く職員の処遇改善策も重ねて要望していきたいと考えております。

さて、昨年の松楓園は大きな事件・事故も無く比較的平穩な一年を過ごされたのではないかと思っております。心配された新型インフルエンザの発生も、早い時期に利用者の方のご協力をいただいで感染を防ぐ為のいろいろな予防対策を実施したことで、今まで発生ゼロで来る事が出来ました。今後も気を緩めることなく引き続きノロウイルス、

インフルエンザ、食中毒・O157、等の感染症に注意していきたいと思っております。

本年も第三者評価事業を受けました。評価結果は未だ出ておりませんが、聴き取りアンケートを通じて得た利用者の皆様からのご意見・ご要望を早速日常の業務に反映して参りたいと考えております。

平成十九年度「何でも相談窓口」行ってまいりましたが、本年度からは更に外部の有識者に依頼して組織いたしました第三者委員による「相談窓口」を行ってまいりました。職員には話しづらい相談事をよく聴いてくれて助かるというご意見が利用者の皆様から多く寄せられていますので、今後も続けていきたいと考えております。

松楓園は今年の四月で創立五十五年を迎えます。こ

の節目の年に当たって、創立時の初心に帰り、「安息の地」としての役割を誠実に果たしてまいりますので、本年もご指導・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

松楓園

施設長 馬場 義郎

AED 寄贈



昨年十二月二十八日(月)あきる野市の菅生町内会へ当法人よりAED3台を寄贈致しました。昭和三十年に当法人・松楓園がこの菅生地区に設立され、今年で五十五年。設立当時から菅生町内会の皆様には永きに渡り法人・施設の事業にご協力を頂いております。日頃より菅生町内会の各行事、そして施設の行事等の中、町内会の皆様とは多く地域交流の場を通じ親睦を図って参りました。平成十三年には、町内会と当法人の間で、火災・震災等の発生又は、発生のおそれのある場合、相互が協力をしてその機能を最大限に発揮し被害を最小限に防止する事などを主旨とした「災害活動相互応援協定」を結ぶ事も実現致しました。日本・世界で様々な災害が起きています。いつ発生してもおかしくはな



い不慮の緊急時に備え、その体制整備の一つとしてAEDを寄贈し、老人福祉施設として地域に貢献すると共に、菅生町内会の皆様とは今後、増々相互の信頼を深め、援け合い地域交流が継続される事を望んでおります。(この件については地元の広報誌他でも掲載されました) また寄贈だけでなく、施設の機能と職員とのノウハウを生かし、地域の皆様と共にAED他、様々な災害対策の訓練が行われるような機会を作り上げて行きたいと考えております。

転倒予防講習会

危機管理運営委員会の取り組みとして、ヒヤリハット・事故報告書の充実を図ることで、転倒事故防止に努めてきました。

職員が日頃学び得た知識を、利用者の方々に伝える事で、事故の防止につながるればとの思いから「転倒予防講習会」を実施しました。



転倒を予防する事で、元気に松楓園の生活を楽しんで頂きたいと願います。



皆さんからは、新年を迎えた思いについて話をいただき、各職員からも挨拶と共に、新年の抱負を述べて頂きました。



利用者 新年会

一月八日に「利用者新年会」を行いました。会場にはお正月の飾りが沢山あり、テーブルの上にも昔懐かしい独楽やめんこ等の玩具を用意して、正月の雰囲気です。



今年も皆さん健康で、楽しい一年になります様に。



拝島大師初詣



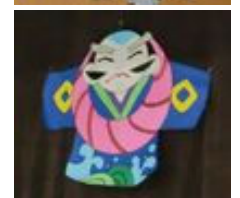
一月五日、六日に毎年恒例の拝島大師への初詣に行ってきました。



松楓園のお正月



今年も利用者の皆さんと一緒に、新年の飾りを3種類作りました。120センチ位の凧と、熊手飾り、干支の寅飾りを作りました。



作成中、利用者さんから、様々なアイデアを頂きながら、出来上りを楽しみながら作りました。



新年会に飾りましたが、他の利用者さんから出来栄を誉められ嬉しうでした。

書初め



西野先生の指導を受けてから二年たち、今年は書初めに挑戦しようとして昨年九月より部員の皆さまにお声をかけてきました。当初は二名ほど挑戦したいとお返事をいただきました。

クリスマス会



十二月十七日当日は、昨年好評でしたバイキング方式でのお食事をして頂きながら、プロのピアノ・フルートの演奏を聴いたり、演奏にあわせ歌をうたいました。



バレンタインデー



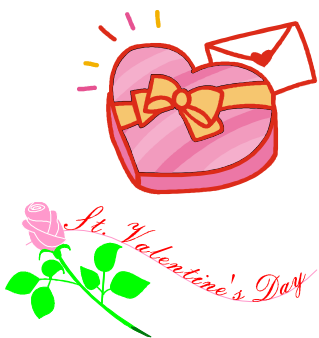
日本ではバレンタインデーは、一種のお祭りです。日本中が大騒ぎするほどの行事ともいえます。

バレンタインデーの期間で消費されるチョコレートは年間消費量の1-8にも上り、製菓会社にとって重要な国民的行事です。

日本のバレンタインデーでは、女性がチョコレートを贈って男性に愛の告白をするというのが始まりですが、現在ではもっと大きな意味でのチョコレートを贈り合う日になり、友人・パートナー・職場の上司や同僚へと恋愛ではなくても贈る習慣になりました。

私も本命チョコをあげたいのですが本命がないので、毎年姉の恋人に作っています。

バレンタインデーの思い出と言うと、遙か昔高校生の時に先輩で好意を寄せていた人が居り、その人にプレゼントをしようと、小遣いを貯め、チョコレートを買いました。しかし、当日渡す事が出来ず、結局自分で食べてしまった事があります。今となれば懐かしい思い出です。



私も結婚して3年ほどは夫に渡していたのですが、「焼酎の方が良いんだけど」と言われ、頑固な私はそれ以来、チョコを渡していません。トホホでも手作りのチョコの作り方を教えて貰い、作ってみたくまりました。さて何年ぶりに作ろうかな！

心と体のバランス



健康シリーズ

皆さんは何か嫌な事や、悩み事があった時にお腹が痛くなったり、気分が悪くなったりした事はありますか？

人は心に悩み等を抱えると、脳からマイナスの指令が無意識に身体に伝達されるそうです。その指令に身体が反応して、身体のだるさ・めまい・頭痛などの症状を引き起こすようです。その点について専門のお医者さんは、「定期的な気分転換と一人で悩みを抱え込まない事が大切である」と勧めていました。きっと気持ちが晴れて心も体もさわやかになると思っていますよ。

行事予定



二月三日節分

松楓園では毎年年男・年女が袴をつけ施設内に落花生をまき無病息災を願っています。今年は年男がいらつしやらないので、年女だけの豆まきとなります。

節分



一月中旬、節分当日に先立ち利用者が個性豊かな鬼の面を製作致しました。

三月十九日

ミニスポーツ大会

暖かさが日増しに進むこの時期に気持ちの良い汗を利用者と共にかきたいと思っています

【編集後記】

真冬のような厳しい寒さが続いています。松楓園の園庭で、草の芽の萌え出ている姿を見かけると春が近づく感じがして、少し心も温かくなってきました。春にはお花見を予定しており、桜やチューリップが咲き誇るのを楽しみに待っています。

発行者 社会福祉法人松楓会
養護老人ホーム松楓園
住所 東京都 あきる野市
菅生1159番地
電話 042-558-7010 (代)
<http://www.showhoen.jp/>